

パークアンドライドの取り組みについて

1 山梨県総合交通構想の位置づけ

基本目標 4 施策 1 「パークアンドライドシステムの推進」

- ・マイカーと公共交通機関との機能分担を図るとともに、公共交通機関の利用を促進するため、パークアンドライドシステムの普及を推進します。

2 これまでの取り組み

パークアンドバスライド実証実験 (H9～H16)

- ・パークアンドバスライドの本格運行に向けた課題抽出のため、平成 9 年から平成 16 年にかけて敷島ルート、開国橋ルートの 2 系統で実証実験を実施。
- ・どちらも十分な利用者が獲得できなかったため本格運行には至らず、以下の課題が残された。

交通渋滞の影響でダイヤどおりの運行が困難
マイカーと比較して運賃等の負担感が大きい
バスの便数が少なく、最終バスの時間も早い
駐車場の確保が困難

3 郊外ショッピングセンターでのパークアンドバスライドの検討

- ・実証実験により抽出された課題をクリアする方策として、郊外のショッピングセンターの駐車場を利用したパークアンドバスライドの実施を検討。

駐車場の規模が大きく平日の利用状況に余裕があること
運行本数が多く運賃が低廉な既存バス路線が存在すること

以上から、イオンモール甲府昭和で実証実験を実施。

4 イオンモールでのパークアンドバスライドの実施(詳細は資料 3-2)

- ・平成 24 年 4 月から、2 年間の実証実験として、イオンモール甲府昭和の駐車場を利用したパークアンドバスライドを実施。
- ・利用者は、イオンモールの駐車場にマイカーを無料で駐車し、片道 200 円の運賃を支払ってバスを利用し、甲府方面へ通勤通学する。
- ・赤字が発生した場合に県とイオンモールで 1/2 ずつ補填するという協定を締結して事業を実施。

5 イオンモールでのパークアンドバスライドの利用者の状況(詳細は資料 3-3)

- ・平成 24 年度

1 日平均利用者数	17.43 人
収支	747 千円 (県からは 373 千円を補助)
- ・平成 25 年度(2 月末まで)

1 日平均利用者数	27.53 人
赤字補填を行わない見込み	